

ムサラ (2925m)

8月10日(水)の午前中、ブルガリアの首都ソフィアの郊外に建つボヤナ教会(ブルガリア正教会の教会堂)とヴィトシャ山を訪れた。ムサラに登るため、午後はスキーリゾートの街として知られるポロヴェツ(Borovets)に向かった。ヴィトシャ山の道路は彼処にできた穴ぼこに注意しながら車を運転しなければならない。スピードは出せない。ここだけでなくブルガリアの道路は路面が良くない。一応、高速道路はあるが幹線だけに限られており料金所はない。



ボヤナ教会

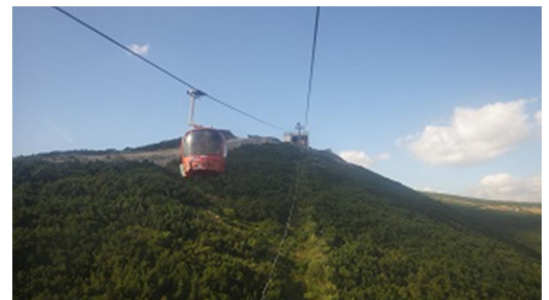
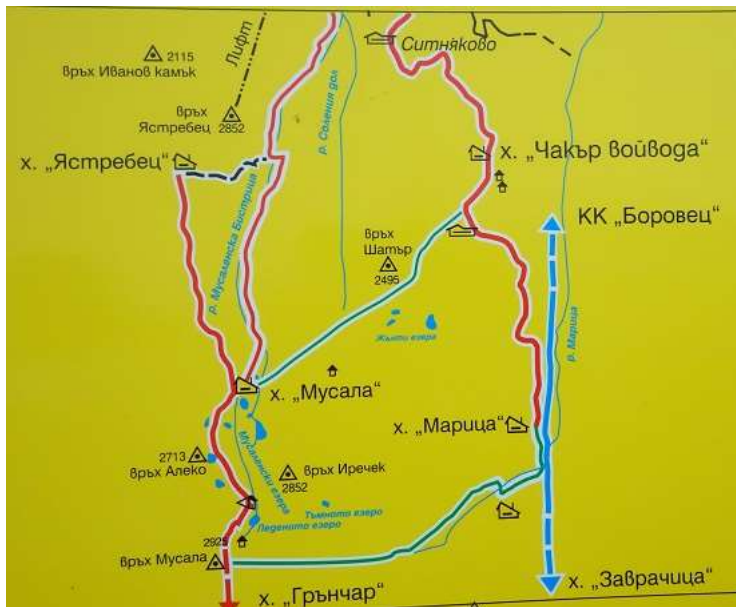


ヴィトシャ山



道中の湖そばのレストラン

翌8月11日、ムサラを往復する。ホテルで朝8時半からの朝食を済ませ、スキーゴンドラで標高2350mまで上がり、そこから往復した。ゴンドラの値段は往復12Leva。2週間の有効期限。バルカン半島の最高峰であるが、ゴンドラを利用するので標高差は少なく登りやすい。ちょうどよいハイキングといった感じである。当日、朝から全戸停電していたのでゴンドラが運行されているか心配したが問題なかった。ゴンドラ終点から、次の湖畔のムサラ小屋までは平坦な道が続き、そこから、頂上まで登りとなる。



ゴンドラ降車後、少し下ったのち、平坦な道が湖畔まで続く





Ledenno Ezero 左は小屋の屋根



山頂の小屋



頂上は多くの人で賑わっていた



初めて見たが、山頂でブルガリアの伝統楽器を演奏する人がいた。みんなが拍手するととても喜んでいたので印象的だ。下の写真は、子供がチャレンジしている様子を撮影したもの。



リラの僧院のお土産物屋で売っていたもの

名前はガイダと呼ばれバグパイプの一種だそうである。子羊か子山羊の皮から作った留気袋に数本の音管が繋いである。帰国してから、YouTubeで視聴した記録が参考になり、興味が増した。

Music of Bulgaria 3/4 - YouTube (<https://www.youtube.com/watch?v=vKTAp4BiUYO>)



ムサラ山頂にて